

岩手県感染症週報

平成28年第43週(10月24日～10月30日)

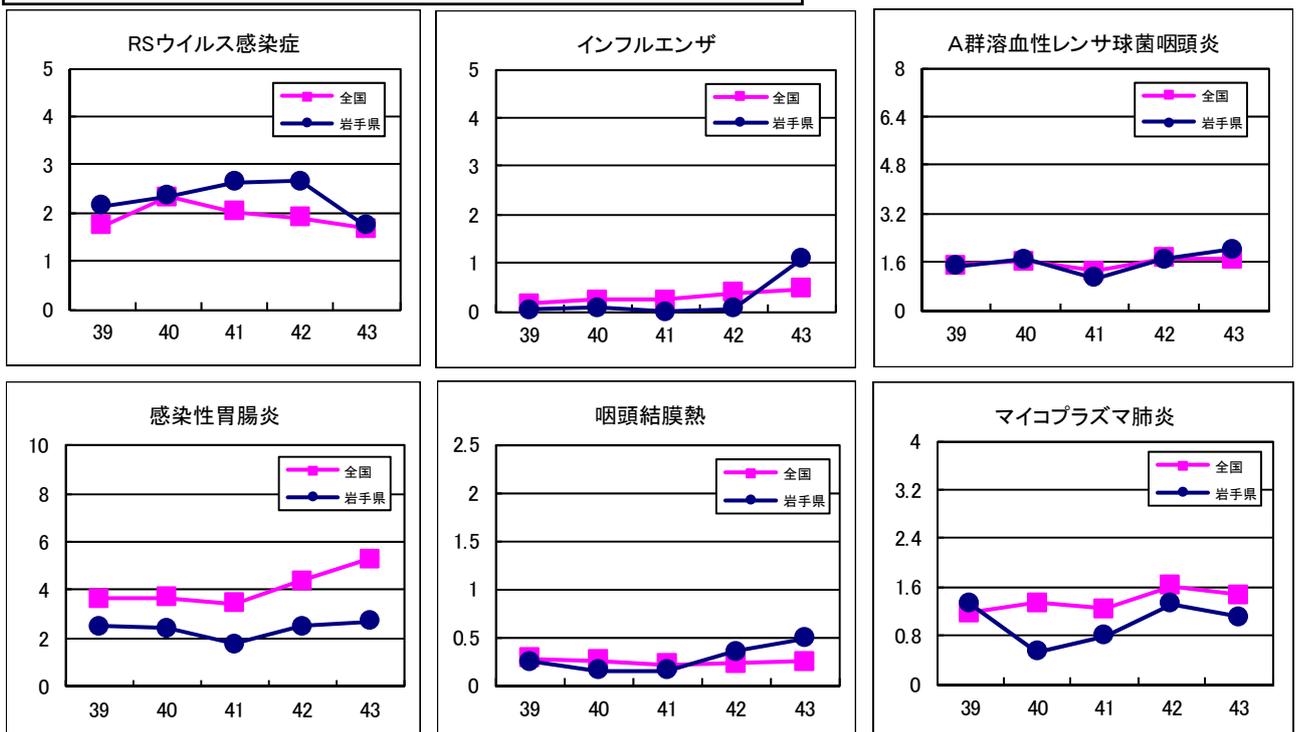
岩手県感染症情報センター

第43週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が6例ありました。このうち潜在性結核感染症の報告は4例です。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例ありました。今年これで53例目です。
- 4 類感染症 ・患者発生はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が久慈地区から1例ありました。
 - ・梅毒の報告が大船渡地区から1例ありました。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・インフルエンザは前週より大きく増加し、宮古地区で注意報値(定点あたり患者数10人)を超えました。さらに、同地区の中学校で今季初の学校閉鎖措置がとられました。これから冬期にかけて流行するので、注意が必要です。インフルエンザワクチンは、接種後効果が現れるまで2週間程度かかるため、早めの接種が推奨されます。
 - ・感染性胃腸炎は、前週より増加しました。中部、大船渡及び二戸地区で多くなっています。また、盛岡市の認定こども園において、ノロウイルスによる集団感染が発生しました。感染の拡大を防ぐため、石けんと流水による手洗いや、塩素系薬剤を使用した患者の吐物や便の適切な処理などが重要です。
 - ・溶連菌咽頭炎は、前週に続き二戸地区で警報値(同8人)を超えました。二戸地区で多い状況が続いているので、注意が必要です。予防には、手洗いやうがい、患者との濃厚接触を避けることが重要です。
 - ・台風による被害を受けた地域では、片付け作業時における感染症の罹患や、避難所での感染症の拡大に注意が必要です。マスクの着用や手指衛生など感染症予防対策を心がけてください。
 水害時の衛生対策と消毒方法について <http://www.pref.iwate.jp/saigaijouhou/048398.html>
 避難所などではインフルやノロ、食中毒に御用心!! <http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/taisaku/049594.html>

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		39	40	41	42	43		
インフルエンザ	岩手県	0.03	0.08	0	0.05	1.08	↗	☆
	全国	0.16	0.23	0.24	0.37	0.47		
RSウイルス感染症	岩手県	2.15	2.35	2.63	2.65	1.73	↘	☆☆
	全国	1.73	2.32	2.02	1.9	1.67		
咽頭結膜熱	岩手県	0.25	0.15	0.15	0.35	0.48	→	☆☆
	全国	0.28	0.26	0.21	0.22	0.25		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.45	1.7	1.05	1.7	2.03	→	☆☆
	全国	1.5	1.61	1.28	1.72	1.69		
感染性胃腸炎	岩手県	2.48	2.4	1.75	2.48	2.68	→	☆
	全国	3.64	3.69	3.43	4.36	5.26		
水痘	岩手県	0.13	0.13	0.18	0.4	0.15	→	☆
	全国	0.28	0.29	0.26	0.29	0.37		
手足口病	岩手県	0.53	0.55	0.18	0.23	0.1	→	☆
	全国	1.08	1.39	1.09	1.04	1.06		
伝染性紅斑	岩手県	0.15	0.03	0.13	0.08	0	→	
	全国	0.15	0.12	0.09	0.13	0.09		
突発性発疹	岩手県	0.4	0.38	0.4	0.38	0.28	→	☆
	全国	0.49	0.47	0.41	0.43	0.45		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02		
ヘルパンギーナ	岩手県	2.15	1.35	0.55	0.7	0.5	→	☆
	全国	0.98	1.02	0.55	0.4	0.32		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.63	0.68	0.48	0.85	0.73	→	☆
	全国	1.2	1.11	0.94	1.27	0.97		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.07	→	
	全国	0.03	0.01	0.01	0	0		
流行性角結膜炎	岩手県	0.21	0.29	0.14	0.29	0.07	→	
	全国	1.01	0.97	0.77	0.89	0.87		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.04	0.02	0.02	0.03		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.07	0.06	0.05	0.08	0.05		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	1.32	0.53	0.79	1.32	1.11	→	☆
	全国	1.18	1.33	1.23	1.61	1.46		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0	0.01		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	1	0	0	0	15		
	全国	13	32	25	57	43		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 39	40	41	42	43	累計	43	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	2 (1)	3 (3)	4 (0)	3 (1)	6 (4)	209 (91)	356	19873
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	9
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	3	106
	腸管出血性大腸菌感染症	1	5	1	3	1	53	80	3233
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	50
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	17
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	3	1	320
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	5	244
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	18
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	4
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	7
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	9
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	3	53
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	1	13
	つつが虫病	0	0	0	0	0	3	7	110
	デング熱	0	0	0	0	0	1	7	309
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	14	243
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	2	9
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	2
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	4	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	44	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	8	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	1	1	1	0	0	14	38	1332	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	3	69	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		39	40	41	42	43		43	累計
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	10	15	951
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	1	0	1	0	0	5	2	237
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0	7	17	1246
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	5	4	649
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	13
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	1	6	6	421
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	18	1208
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	57
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	1	2	252
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	38
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	2	0	9	28	2080
	水痘 (入院例)	1	0	0	0	0	6	3	247
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	1	0	1	0	1	6	56	3684
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	1	108
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	105
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	47
	風しん	0	0	0	0	0	2	2	113
麻しん	0	0	0	0	0	0	2	143	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	32	

今注目の感染症

マイコプラズマ肺炎

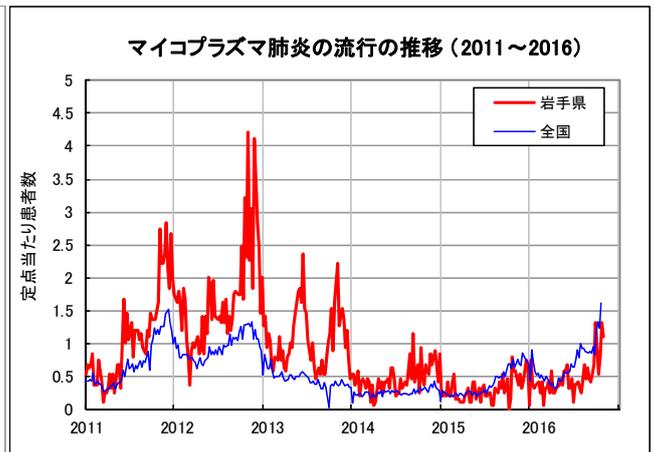
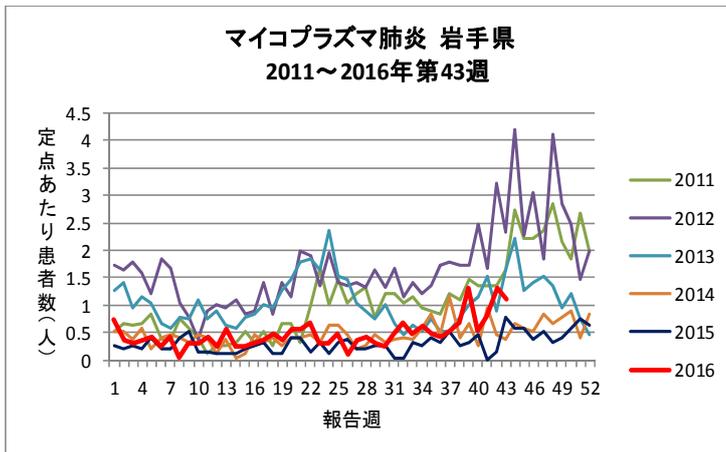
マイコプラズマ肺炎は、マイコプラズマという小型の細菌によって引き起こされる呼吸器感染症です。患者はどの年齢層でも認められますが、特に幼児期・学童期に多く見られます。感染経路は、飛沫及び接触感染であり、潜伏期間は2～3週間です。症状は、発熱や全身倦怠感、本疾患に特徴的な長く続く乾いた咳 (痰を伴わない咳) などがみられます。

マイコプラズマは、細胞壁を持たないため、ペニシリン系やセフェム系などの細胞壁合成阻害の抗菌薬は効果が無く、マクロライド系やテトラサイクリン系の抗菌薬が使用されます。

手洗いやうがい、患者との濃厚接触を避けるといった基本的な予防対策が重要となります。全国的に流行しているので注意が必要です。

※参考 国立感染症研究所 マイコプラズマ肺炎とは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/503-mycoplasma-pneumoniae.html>



今注目の感染症 (つづき)

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。潜伏期間は1～3日間と短く、38℃を超える発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等の全身症状が突然現れます。

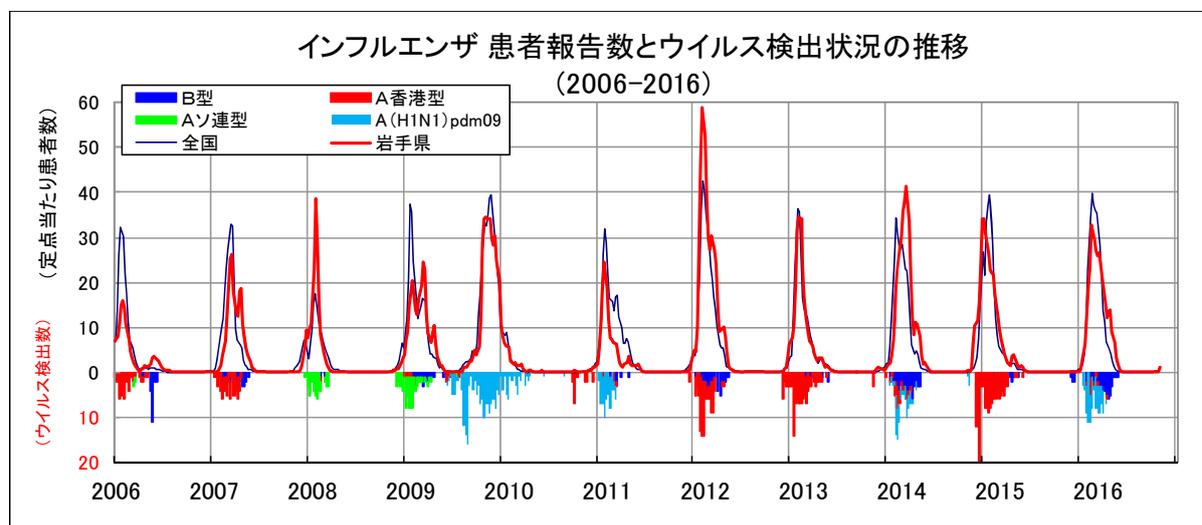
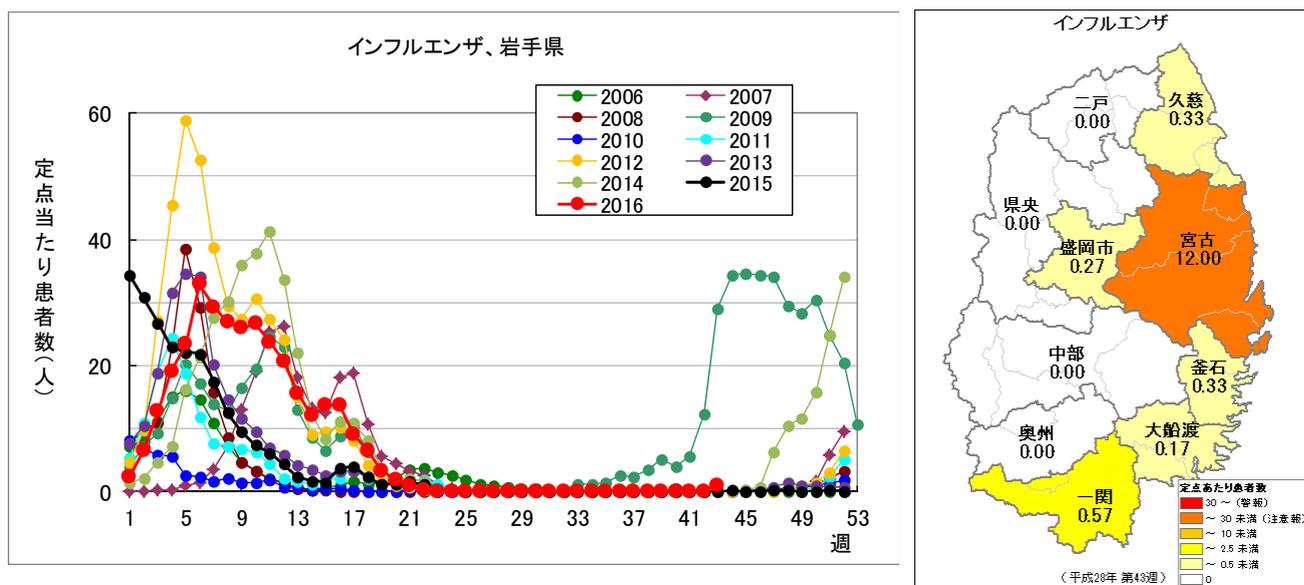
岩手県では、例年11月下旬～12月上旬頃に発生が始まり、翌年1～3月頃に患者数が増大しますが、今シーズンは、やや早く発生が始まっています。第43週は、宮古地区で注意報値（定点あたり患者数10人）を超えました。医療機関からの報告では、A型が多くなっています。

飛沫感染対策としての咳エチケット（有症者自身がマスクを着用し、咳をする際にはティッシュやハンカチで口を覆う等の対応を行うこと）、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生を徹底することが重要です。

今年度のインフルエンザワクチンは昨年度と同様に、A型2種類（H1N1、H3N2）、B型2種類（山形系統、ビクトリア系統）の計4種類が含まれた4価ワクチンです。ワクチンの予防効果が現れるのは、接種後2週間から5ヶ月程度と考えられています。早めの接種が推奨されます。

参考 国立感染症研究所 インフルエンザとは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>



今注目の感染症 (つづき)

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、RSウイルス (Respiratory Syncytial virus) による呼吸器の感染症です。年齢を問わず、何度も感染と発病を繰り返しますが、生後1歳までに半数以上が、2歳までにほぼ100%の児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。

症状は、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々ですが、初めて感染発症した場合は重くなりやすいといわれています。特に乳児期早期 (生後数週間～数か月間) にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。

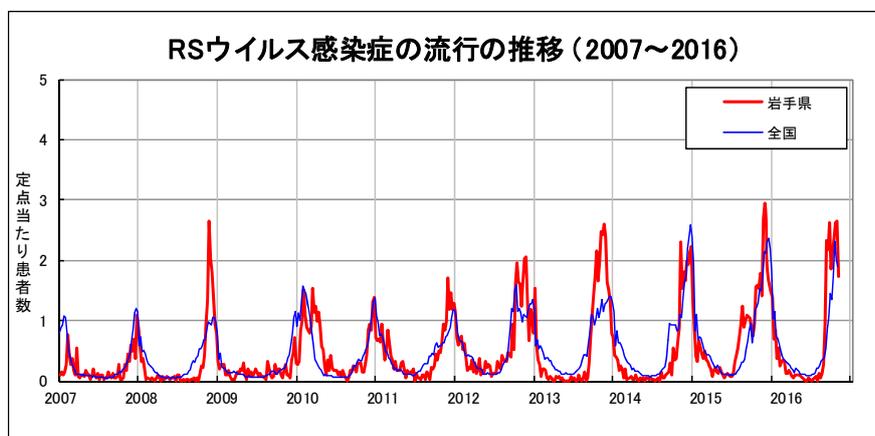
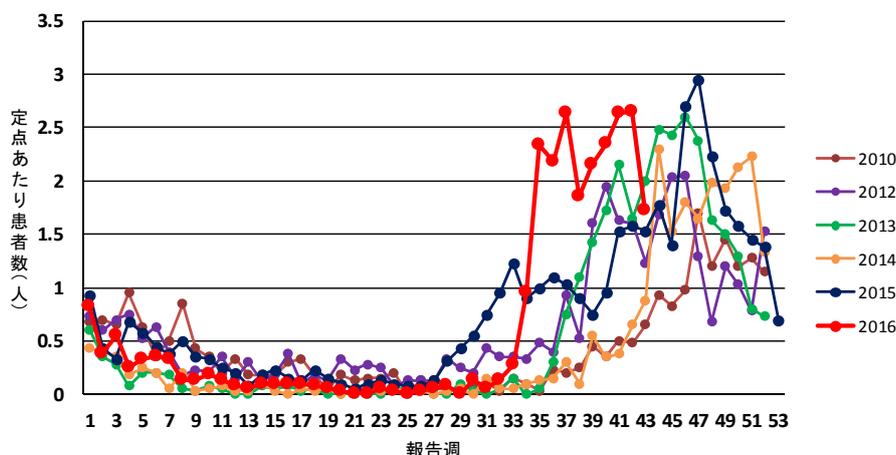
岩手県においては、第43週の県全体の定点あたり患者数は1.73人でした。地域別では県央及び中部で多くなっています。例年、秋から冬にかけて流行しますが、今年は早い時期から報告数が増加しています。

感染経路は主に飛沫感染と接触感染です。ウイルスが付いている手指や物品を介した間接的な接触による感染も起こります。石けんと流水による手洗いで、手指衛生を励行することが重要です。

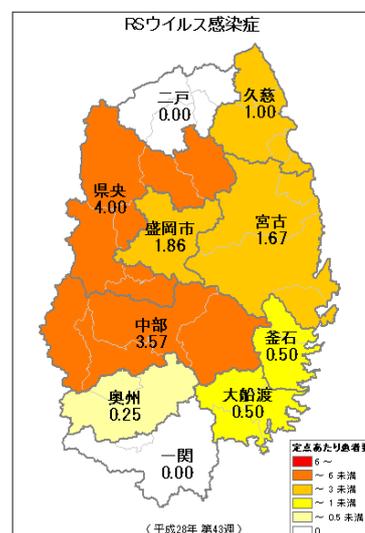
参考 厚生労働省 RSウイルス感染症Q&A

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

RSウイルス感染症週別患者報告数 岩手県
2010年～2016年第43週



※RSウイルス感染症は警報値が定められていません。



今注目の感染症 (つづき)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

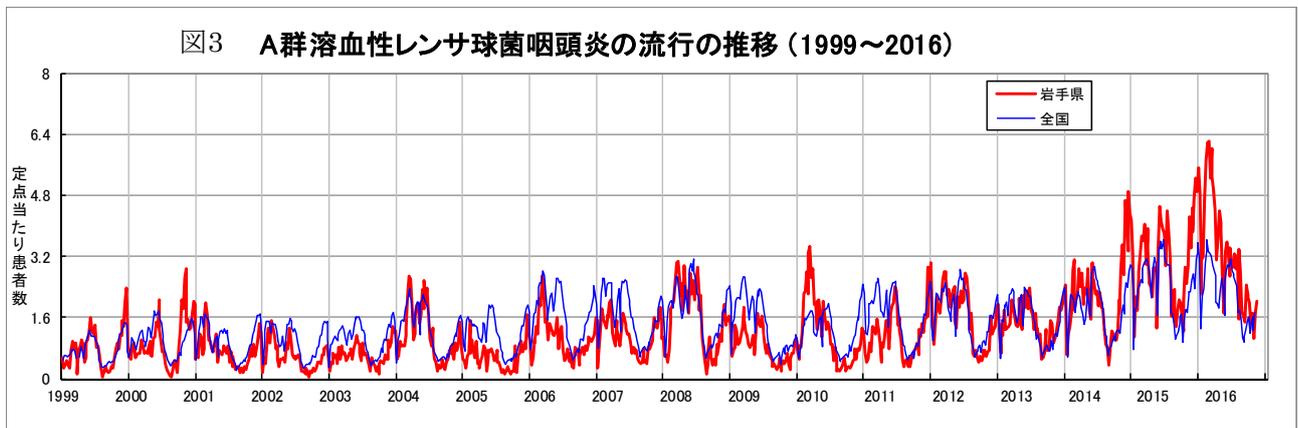
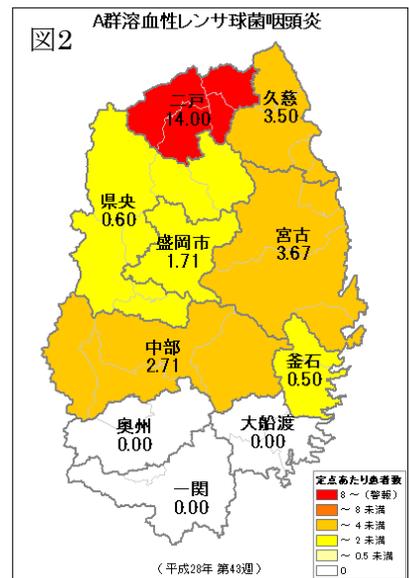
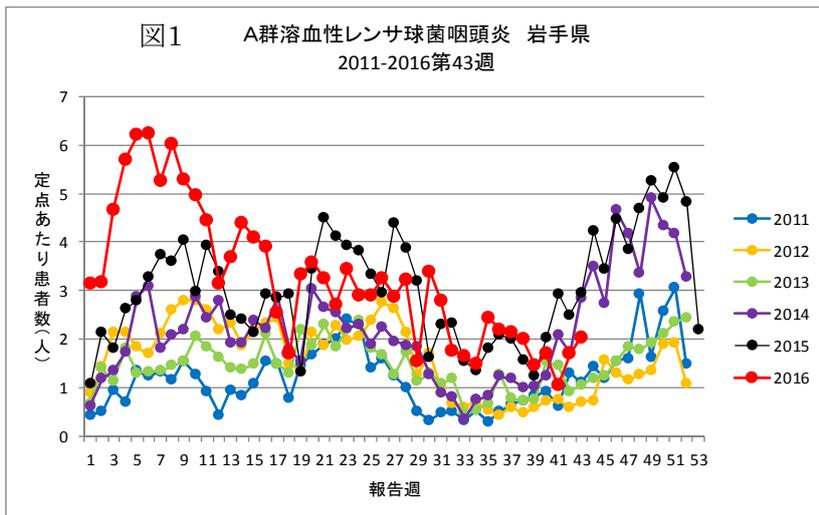
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による急性咽頭炎です。潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、咽頭炎、全身倦怠感によって発症し、体幹に発疹を伴うことがあります。感染後、急性腎炎を併発することがあるので、7～10日間の抗菌剤内服が重要です。予後良好な疾患ですが、菌が産生する毒素に免疫がない場合には猩紅熱に発展する場合があります。

予防には、患者との濃厚接触を避けること、うがいや手洗いなどの励行、マスクを用いた咳エチケットが重要です。

岩手県での発生状況は、2014年の第41週から、他の年に比較して多い状況が続いています(図3)。2016年の第6週には、県全体の定点あたり患者数6.23人と、調査を開始した平成11年以降で最多の報告数となりました(図1)。その後減少しましたが、例年より報告数が多くなっています。第43週は、前週に続き、二戸地区で警報値(定点あたり患者数8人)を超えました(図2)。二戸地区で多い状況が続いているので注意が必要です。

参考 国立感染症研究所 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>



病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

集団感染情報

- 感染性胃腸炎の集団発生について
盛岡市内の認定子ども園（園児162名、職員44名）
 - ・10月22日（土）から11月2日（水）までに、園児26名に症状（下痢、嘔吐、発熱等）
 - ・有症者7名からノロウイルスを確認
- インフルエンザによる学校等の休校措置について
 - ・岩手県 1件
 - ・盛岡市 0件詳細は岩手県医療政策室のホームページを御覧ください。
<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/Influ/index.html>

医療機関からの情報

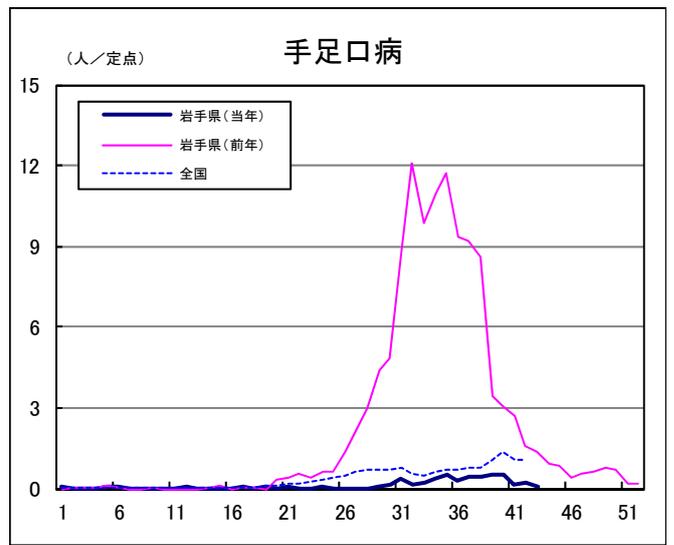
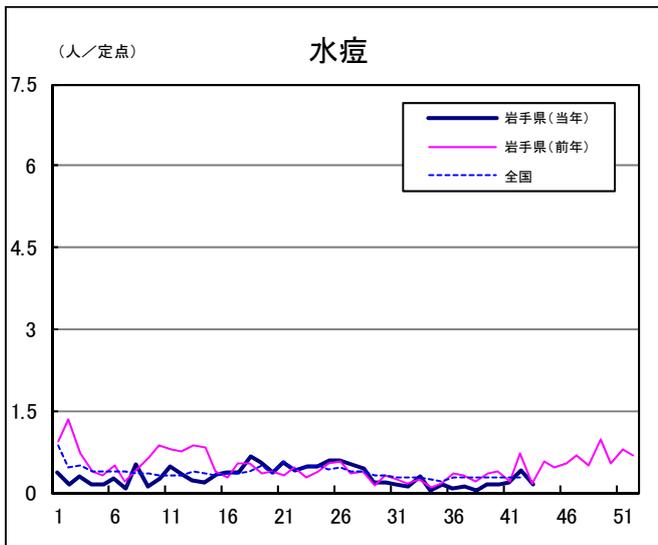
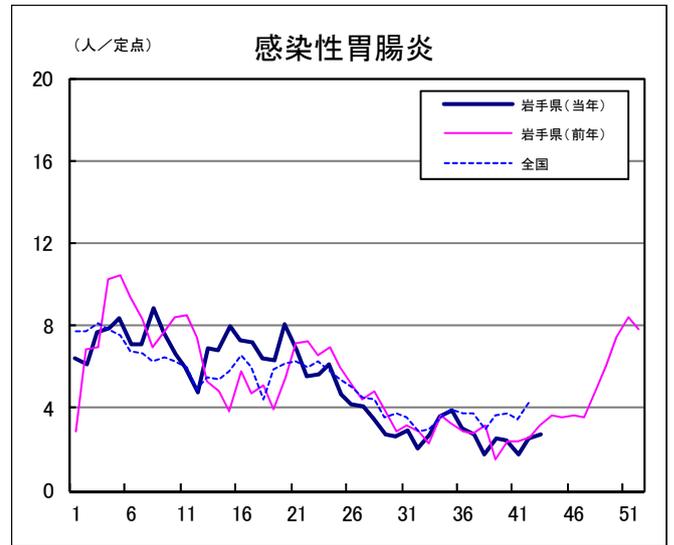
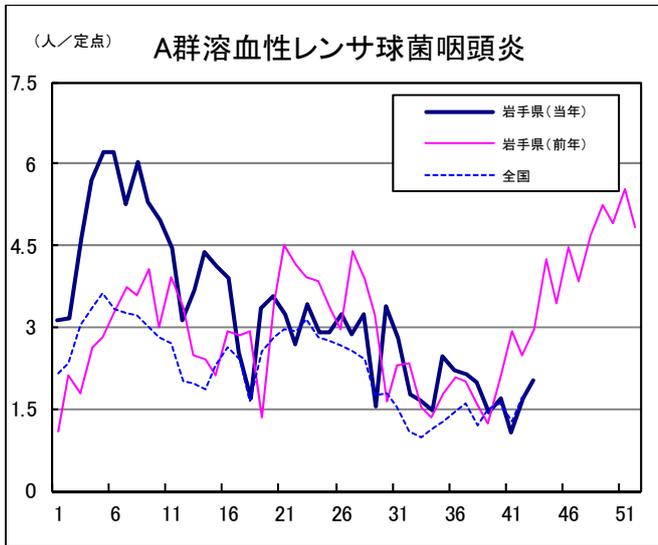
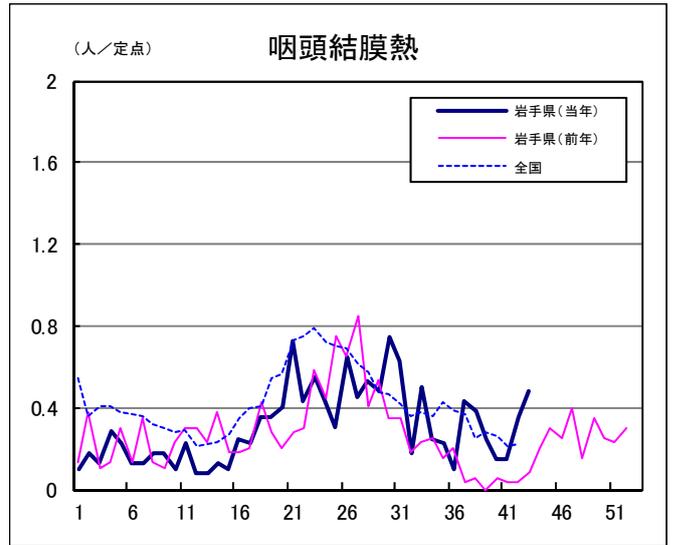
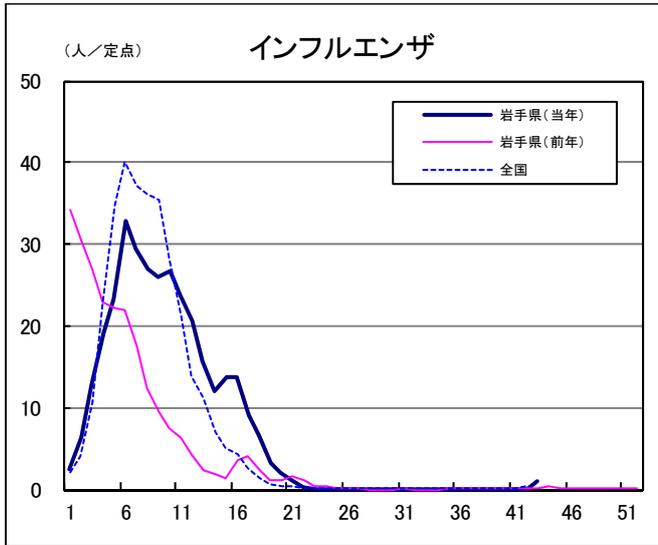
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

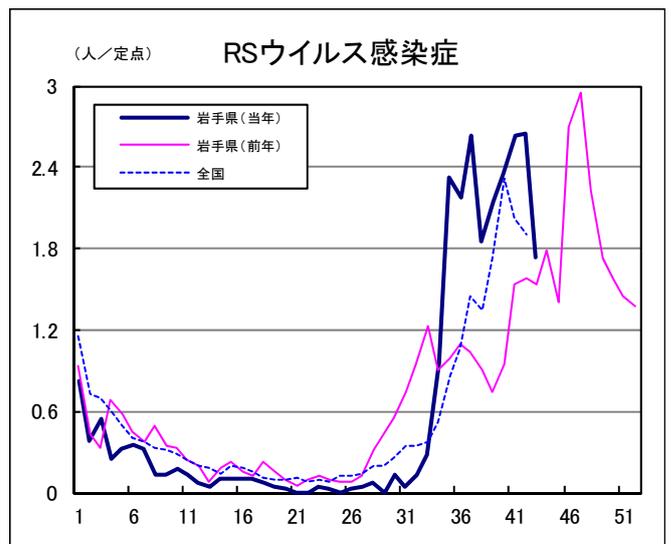
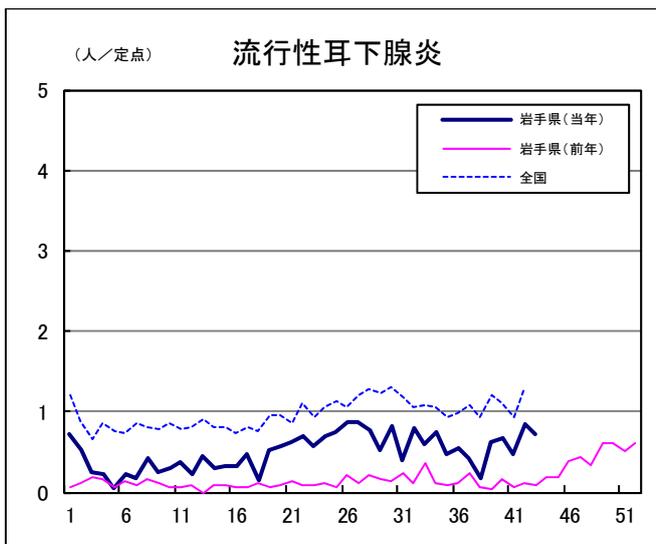
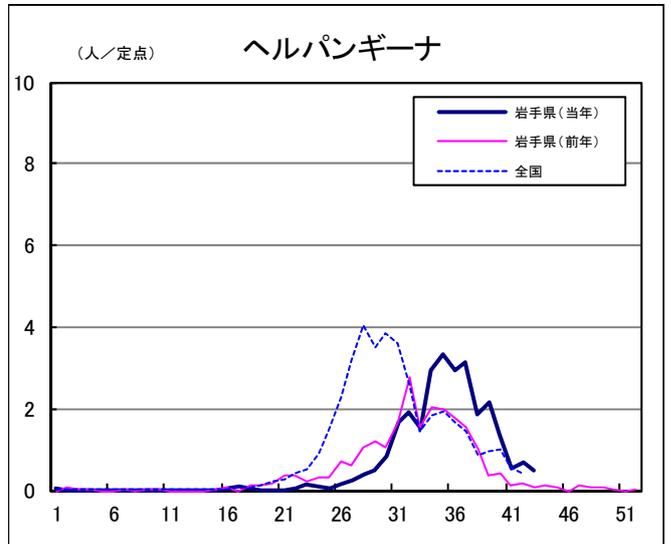
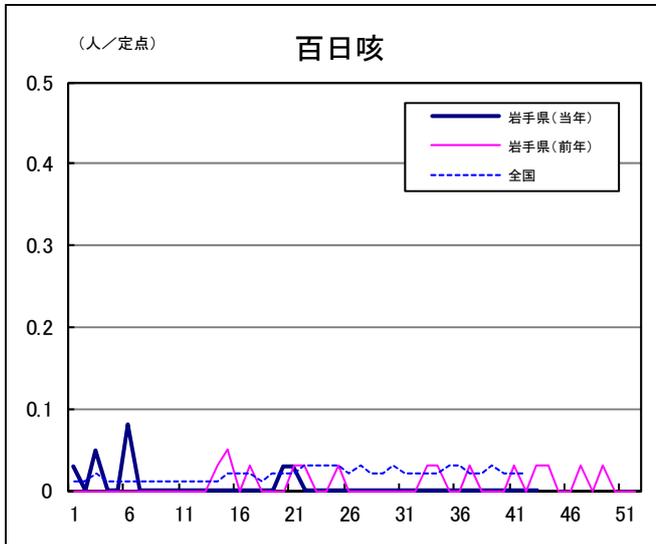
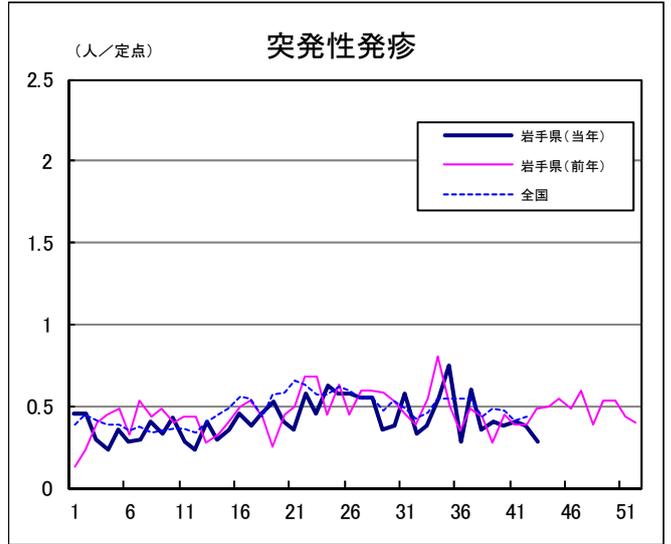
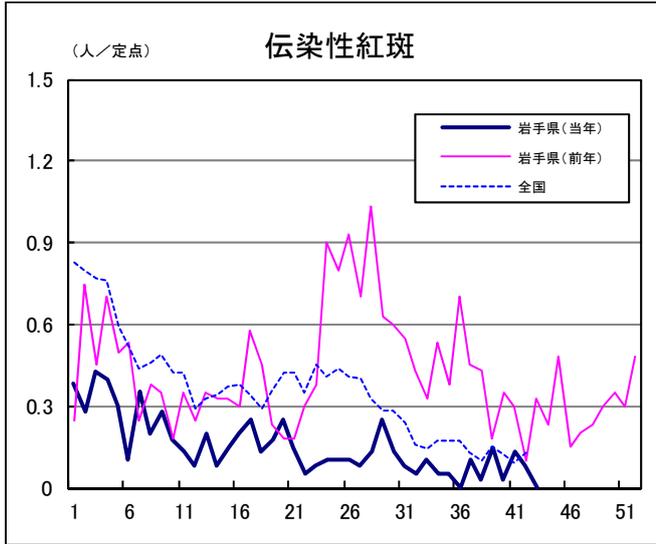
Q & A

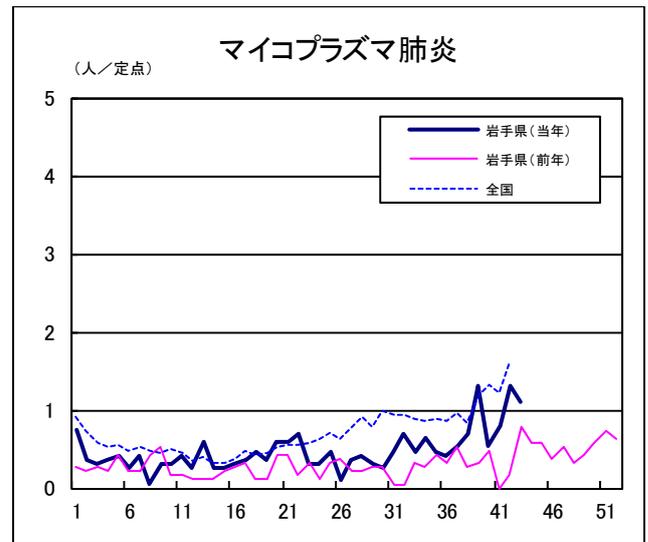
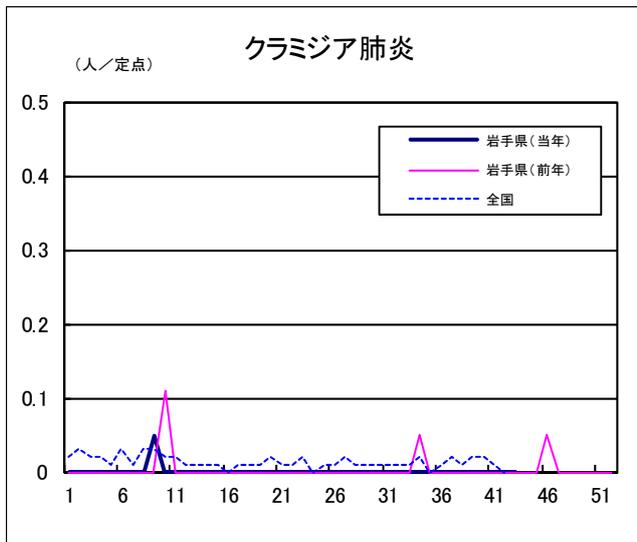
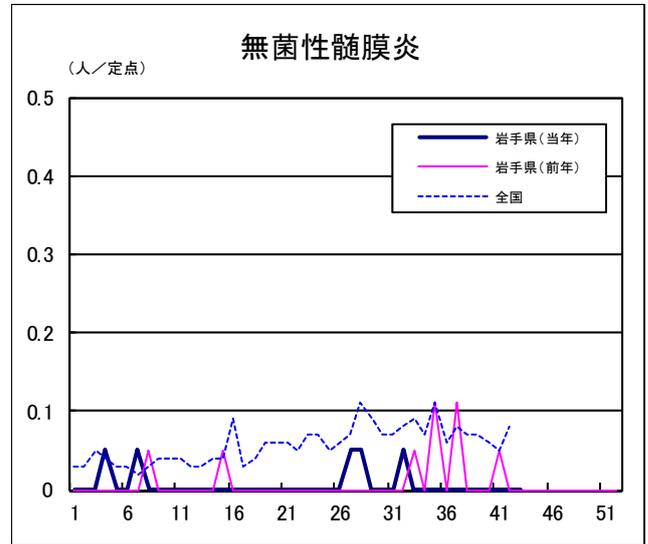
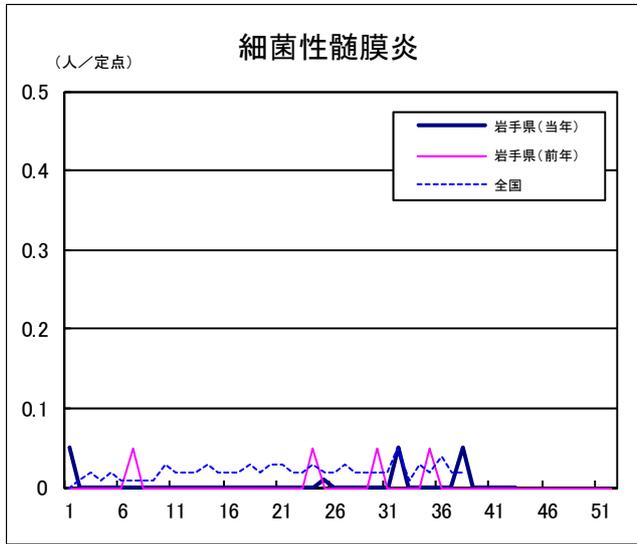
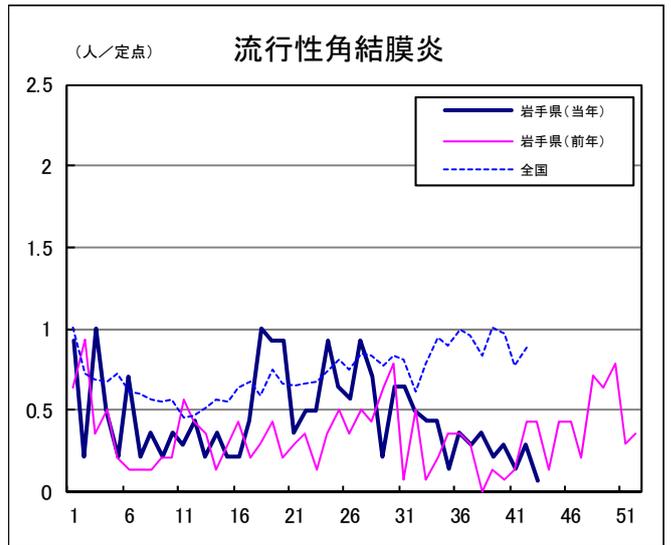
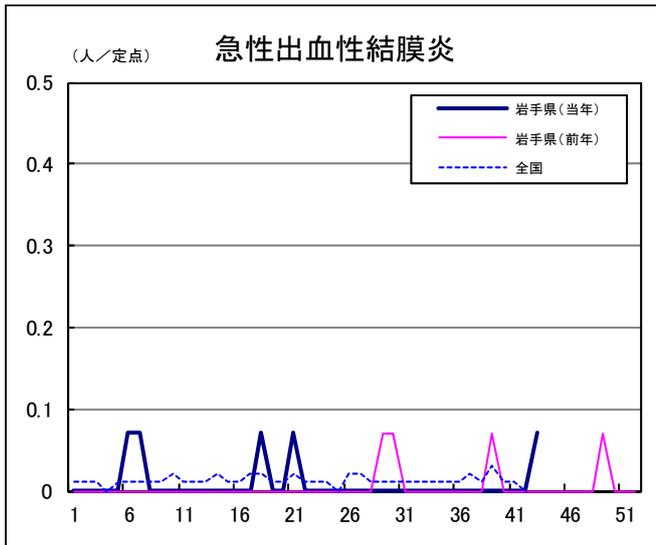
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	65	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	8	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成28年第43週 平成28年11月5日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>